



平成27年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年7月29日

上場会社名 フューチャーアーキテクト株式会社
コード番号 4722 URL <http://www.future.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 裕二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中島 由彦
四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 平成27年9月18日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-5740-5724
平成27年9月18日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	17,033	4.0	2,093	11.6	2,102	11.7	1,197	16.1
26年12月期第2四半期	16,372	20.9	1,875	19.5	1,882	10.9	1,031	0.6

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 1,275百万円 (25.9%) 26年12月期第2四半期 1,013百万円 (6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	26.81	26.80
26年12月期第2四半期	23.11	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年12月期第2四半期	21,291		15,235	70.7			336.80	
26年12月期	21,702		14,475	65.8			319.80	

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 15,056百万円 26年12月期 14,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期		8.00		11.00	19.00
27年12月期		9.50			
27年12月期(予想)				9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の期末配当金11円の内訳につきましては、普通配当9円、創業25周年記念配当2円になります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	35,250	2.4	4,800	10.5	4,830	11.7	2,770	24.8		61.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	47,664,000 株	26年12月期	47,664,000 株
期末自己株式数	27年12月期2Q	2,958,800 株	26年12月期	3,040,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	44,673,008 株	26年12月期2Q	44,623,200 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想数値及び将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基いており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 受注の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は17,033百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は2,093百万円（同11.6%増）、経常利益は2,102百万円（同11.7%増）、四半期純利益は1,197百万円（同16.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、連結売上高・連結営業利益・連結経常利益について、第2四半期連結累計期間としては3年連続で過去最高を更新しました。

各セグメントの業績については以下のとおりです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

第1四半期連結累計期間より、当社の顧客向け保守運用サービスが主たる業務となったフューチャーインスペース株式会社をパッケージ&サービス事業からITコンサルティング事業に、電子カルテのクリニック向けクラウドサービスが増加したライフサイエンスコンピューティング株式会社をITコンサルティング事業からパッケージ&サービス事業に、それぞれセグメント変更をしております。前年同期比については、前第2四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

① ITコンサルティング事業

製造業を中心にITシステムの刷新・統合に係る大型案件の売上が拡大するとともに、流通業、サービス業及び証券・銀行業の主要顧客についても継続的に案件を受注しました。特に金融クラウド（SKYBANK）について新規の顧客を獲得するなど、銀行業向けプロジェクトの売上が増加しました。また、プロジェクトにおける活動や成果物をすべてデータベース化し、プロジェクト進捗のモニタリングと成果物の品質チェックを自動化するプロジェクト運営手法（fraqta）の全社展開を進めたことにより、プロジェクトの利益率が向上したことが営業利益の増加に貢献しました。

フューチャーインスペース株式会社については、当社の社員の一部を同社に順次移管し、当社顧客のシステム稼働後の保守運用を同社が中心になって行う体制の整備を順調に進めております。

東南アジアのビジネスにおいては、マレーシア子会社が好調に推移したこと等により、当第2四半期（累計）で、東南アジア子会社合計での黒字化を達成しました。

この結果、売上高は10,321百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は1,924百万円（同12.2%増）となりました。

② パッケージ&サービス事業

FutureOne株式会社は、第2四半期において、複数の中型案件を順調に納品し、また、昨年10月に会社分割で承継した旧株式会社アセンディアの一部事業との融合も進みました。

第1四半期連結累計期間から連結に寄与することになった株式会社マイクロ・シー・イー・デーは、自社製の総合的財産管理システムの好調な販売により、売上高・利益ともに目標を上回って堅調に推移しました。

この結果、売上高は2,095百万円（前年同期比3.6%増）、株式会社マイクロ・シー・イー・デーののれん償却額を反映した営業利益は177百万円（同10.9%増）となりました。

③ ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア・フィットネス用品のネット販売が好調だったことにより前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。また、同社独自のPB商品の売上も順調に増えております。

東京カレンダー株式会社は、1月に新たにオープンしたウェブやスマホのサイトが6月に月間ページビューで300万まで増加しておりますが、まだ今後もサイトの成長のために施策が必要な段階であり、営業損失が続いております。

この結果、売上高は2,394百万円（前年同期比21.7%増）、株式会社eSPORTSののれん償却額を反映した営業損失は49百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

④ 企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店においては、ITを利活用して、個々の店舗の商品毎の売上や在庫量のデータを商品仕入れに反映させることで、粗利率の改善や在庫金額の減少を図りました。

この結果、売上高は2,243百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は12百万円（同279.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ411百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券(前連結会計年度末比+366百万円)が増加した一方で受取手形及び売掛金(同△633百万円)や仕掛品(同△148百万円)が減少したこと等によるものであります。

また、負債は6,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,171百万円減少いたしました。その主な要因は、未払金(前連結会計年度末比△221百万円)や未払法人税等(同△513百万円)が減少したこと等によるものであります。

なお、純資産は15,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ760百万円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金(前連結会計年度末比+706百万円)が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を2,105百万円計上しましたが、仕入債務の減少額162百万円や法人税等の支払額1,359百万円等により、1,038百万円の収入(前年同期は1,184百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出96百万円や投資有価証券の取得による支出298百万円等により、462百万円の支出(前年同期は196百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払491百万円等により、438百万円の支出(前年同期は362百万円の支出)となりました。

これら営業活動、投資活動、財務活動等の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、8,683百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表(平成27年4月28日付)の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,552,995	8,515,079
受取手形及び売掛金	5,006,460	4,372,991
有価証券	103,746	190,782
商品及び製品	589,260	609,278
仕掛品	208,181	59,434
未収入金	1,394,410	1,364,678
繰延税金資産	272,660	273,174
その他	539,911	645,235
貸倒引当金	△4,990	△5,170
流動資産合計	16,662,635	16,025,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,317,003	3,337,105
減価償却累計額	△2,837,256	△2,865,261
建物及び構築物（純額）	479,747	471,844
土地	109,474	109,474
その他	2,063,596	2,110,898
減価償却累計額	△1,702,187	△1,763,601
その他（純額）	361,408	347,296
有形固定資産合計	950,630	928,614
無形固定資産		
のれん	897,211	754,289
ソフトウェア	538,416	507,745
その他	20,687	21,207
無形固定資産合計	1,456,315	1,283,243
投資その他の資産		
投資有価証券	1,494,041	1,860,265
敷金及び保証金	1,022,797	1,024,101
繰延税金資産	106,489	101,712
その他	59,021	117,203
貸倒引当金	△49,286	△49,367
投資その他の資産合計	2,633,063	3,053,915
固定資産合計	5,040,009	5,265,773
資産合計	21,702,644	21,291,255

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,404,017	1,238,623
未払金	1,049,765	828,516
未払法人税等	1,361,648	847,854
賞与引当金	214,506	208,350
品質保証引当金	195,452	107,016
プロジェクト損失引当金	78,500	72,024
ポイント引当金	13,474	20,464
その他	1,483,164	1,297,318
流動負債合計	5,800,529	4,620,167
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
資産除去債務	405,181	406,193
その他	21,192	28,955
固定負債合計	1,426,373	1,435,149
負債合計	7,226,902	6,055,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,815	1,421,815
資本剰余金	2,495,772	2,507,763
利益剰余金	12,012,633	12,719,265
自己株式	△1,540,983	△1,499,428
株主資本合計	14,389,237	15,149,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,168	71,246
為替換算調整勘定	△153,008	△163,743
その他の包括利益累計額合計	△118,839	△92,496
少数株主持分	205,344	179,019
純資産合計	14,475,742	15,235,939
負債純資産合計	21,702,644	21,291,255

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）
売上高	16,372,849	17,033,220
売上原価	10,744,423	10,650,735
売上総利益	5,628,425	6,382,484
販売費及び一般管理費		
役員報酬	159,744	175,407
給料及び賞与	1,576,499	1,773,378
研修費	86,526	131,628
研究開発費	57,648	64,910
減価償却費	51,092	48,620
採用費	152,608	148,334
その他	1,668,586	1,946,704
販売費及び一般管理費合計	3,752,705	4,288,985
営業利益	1,875,719	2,093,499
営業外収益		
受取利息	1,034	1,580
受取配当金	25,516	28,406
持分法による投資利益	404	7,440
その他	12,531	9,664
営業外収益合計	39,487	47,091
営業外費用		
支払利息	4,840	3,703
為替差損	26,345	4,745
寄付金	—	30,000
その他	1,247	—
営業外費用合計	32,434	38,448
経常利益	1,882,773	2,102,142
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,463
関係会社株式売却益	2,138	—
特別利益合計	2,138	12,463
特別損失		
持分変動損失	—	9,343
特別損失合計	—	9,343
税金等調整前四半期純利益	1,884,912	2,105,262

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
法人税等	844,656	848,219
少数株主損益調整前四半期純利益	1,040,255	1,257,043
少数株主利益	8,815	59,555
四半期純利益	1,031,440	1,197,487
少数株主利益	8,815	59,555
少数株主損益調整前四半期純利益	1,040,255	1,257,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,211	37,078
為替換算調整勘定	13,039	△14,824
持分法適用会社に対する持分相当額	△966	△3,410
その他の包括利益合計	△27,138	18,843
四半期包括利益	1,013,116	1,275,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,004,481	1,223,800
少数株主に係る四半期包括利益	8,635	52,086

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,884,912	2,105,262
減価償却費	203,488	196,002
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,510	662
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,170	△3,523
品質保証引当金の増減額(△は減少)	24,131	△88,436
プロジェクト損失引当金の増減額(△は減少)	△18,405	△6,660
受取利息及び受取配当金	△26,551	△29,986
支払利息	4,840	3,703
持分法による投資損益(△は益)	△404	△7,440
持分変動損益(△は益)	—	9,343
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12,463
関係会社株式売却損益(△は益)	△2,138	—
売上債権の増減額(△は増加)	393,279	618,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139,309	128,729
仕入債務の増減額(△は減少)	△285,318	△162,006
その他	228,630	△349,264
小計	2,242,472	2,402,447
利息及び配当金の受取額	26,414	30,097
利息の支払額	△5,088	△3,683
法人税等の支払額	△1,078,863	△1,359,957
寄付金の支払額	—	△30,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,184,934	1,038,904

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,145
有形固定資産の取得による支出	△90,136	△96,604
無形固定資産の取得による支出	△30,428	△56,149
資産除去債務の履行による支出	—	△5,269
投資有価証券の取得による支出	—	△298,375
投資有価証券の売却による収入	—	22,403
関係会社株式の取得による支出	—	△10,255
関係会社株式の売却による収入	25,000	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△19,000
敷金及び保証金の差入による支出	△104,883	△11,580
敷金及び保証金の回収による収入	974	13,215
その他	2,740	△21,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,732	△462,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,000	—
自己株式の売却による収入	—	53,546
配当金の支払額	△357,826	△491,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362,826	△438,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,241	△68,942
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	662,617	69,263
現金及び現金同等物の期首残高	6,892,975	8,614,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,555,593	8,683,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	I Tコンサル ティング事業	パッケージ &サー ビス事業	ニューメ ディア&ウ ェブサー ビス事 業	企業活 性化 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,135,891	2,022,613	1,967,035	2,247,308	16,372,849	—	16,372,849	—	16,372,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,552	628	658	2,152	6,992	—	6,992	△6,992	—
計	10,139,444	2,023,242	1,967,693	2,249,461	16,379,842	—	16,379,842	△6,992	16,372,849
セグメント利益又は損失(△)	1,714,446	160,460	△20,445	3,315	1,857,776	792	1,858,568	17,151	1,875,719

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額17,151千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	I Tコンサル ティング事業	パッケージ &サー ビス事業	ニューメ ディア&ウ ェブサー ビス事 業	企業活 性化 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,314,480	2,085,617	2,393,407	2,239,715	17,033,220	—	17,033,220	—	17,033,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,610	9,992	684	3,521	20,808	—	20,808	△20,808	—
計	10,321,090	2,095,609	2,394,091	2,243,237	17,054,029	—	17,054,029	△20,808	17,033,220
セグメント利益又は損失(△)	1,924,327	177,987	△49,541	12,589	2,065,362	629	2,065,992	27,507	2,093,499

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額27,507千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更等）

前第2四半期連結累計期間において、フューチャーインスペース株式会社の事業を「パッケージ&サービス事業」で集計しておりましたが、第1四半期連結累計期間からは当社の顧客向け保守運用サービスが主たる業務となったため、第1四半期連結累計期間より「I Tコンサルティング事業」に区分を変更しております。

また、前第2四半期連結累計期間において、ライフサイエンスコンピューティング株式会社の事業を「I Tコンサルティング事業」で集計しておりましたが、電子カルテのクリニック向けクラウドサービスが増加したため、第1四半期連結累計期間より「パッケージ&サービス事業」に区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング事業	10,456,368	7,263,830	10,618,116	6,468,304
パッケージ&サービス事業	2,048,458	1,079,591	2,094,525	1,157,006
ニューメディア&ウェブサービス事業	138,799	20,081	134,725	19,410
合計	12,643,626	8,363,502	12,847,366	7,644,721

(注1) 第1四半期連結累計期間においてセグメントの変更を行っており、前第2四半期累計期間の金額は、変更後の報告セグメントの区分に組み替えて集計しております。

(注2) 受注高には為替レート変動に伴う金額調整分を含めております。